

写真の町 通信号外04

写真甲子園2019の初戦応募がはじまりました！フォトフェスタの準備も進んでいます。夏、東川にやってくる高校生たちやスタッフたちへ、私たちができることの一つに、ホームステイがあります。

Vol.04

ホームステイ

□ホームステイは何するの？

フォトふれとは
展示会場設営スタッフです！

フォトふれは
2~3名の宿泊

写真甲子園は
選手3名+監督1名の宿泊

宿泊

写真甲子園本戦出場選手と
“フォトフェスタふれんず”
が各ご家庭で一泊します

写真甲子園選手の夕食は、
町が用意する「歓迎夕食会」で
ホストファミリーと一緒に
楽しんでいただきます！

いつも通りの
食事でOK!!

食事の提供

フォトふれには夕食と朝食
写真甲子園選手には朝食
の提供をお願いします

楽しく交流

全国大会で緊張する選手や、
作業続きのフォトふれに
ほっとするひとときを！

□2017年からホームステイを受け入れていただいている豊口厚子さん、豊口さん宅にホームステイ後も交流があるという写真甲子園OGの中丸ひなこさん(2014年出場・埼玉栄高校)にお話を伺いました！

ーなぜホストファミリーを？

豊口さん：大阪出身ですが、北海道での酪農体験で世界が広がった経験があります。逆の立場にもなりたい、でかけるのは難しいが5人の子ども達にも世界が広がるという体験をさせてあげたい。そんな思いから、部屋を提供できる環境になったらホームステイを受け入れたいと以前から考えていました。

ー中丸さんはじめ、埼玉栄高校の皆さんはどんな方でしたか？

豊口さん：子どもたちの中に、すっと入っていました。中丸さんははじめから「ただいまー」というかんじで、また来てくれたときは、やっぱりなと思いました。ーそれからの交流は？

豊口さん：中丸さんは夏に写真甲子園OB・OGボランティアスタッフをしたあと、いつも一泊延ばして我が家に泊まっていてくれます。冬に来てくれたときは、「体験しとかなきゃね」ということで、雪の露天風呂に行ったり。何回帰ってきてても変わらない子ですね。



ホームステイ時の豊口家のみなさんと埼玉栄高校の選手たち
画面中央左テーブル奥がお話を伺った豊口厚子さん・画面
右で女の子を抱えているのが中丸ひなこさん

ーホームステイがあると聞いたときは
どんな風に思いましたか？

中丸さん：写真部の先輩から、ホームステイがあることは聞いていましたが、ホームステイでも写真を撮るぞという思いもあり、緊張していました。

でもお邪魔すると子どもたちの勢いがかかった！その元気に緊張がほぐれていきました。

ーその後の交流はどういったものですか？

中丸さん：だんだんと濃くなったと思います。人生についていろいろ話すことも。あーでもないこーでもない話して、いつも最後は「なんとかなるよ」と言っていたいです。

ーまた来たいと思いますか？

中丸さん：来たいです！東川に来たら必ず寄っています。大会前は「終わる頃は、また来たい、ではなく、疲れた、と思っているだろう」と考えていましたが、終わってみると、「また来たい」に変わっていました。友人も同じように感じていたそうです。



子どもたちとの交流の様子

□ホームステイは町民の方々との接点を持ち、地元で応援していく雰囲気を作ることが目的。写真好きの彼らと家族ぐるみで交流してみませんか？ホームステイホストファミリー募集についての詳細は6月の広報「ひがしかわ」に掲載予定です！

文化ギャラリー information

4/1~4/23
・第14回ひがしかわ大写真展

表彰式
4/6(土)11時~

4/26~6/12
・ルーク・オザワ写真展
「JET LINER ZERO GLORIOUS - 神業 - in ASAHIKAWA」

トークショー
5/12(日)14時~15時30分

フォトフェスタや写真甲子園のフェイスブックやインスタグラムはご存知ですか？フォトフェスタや甲子園の情報ははじめ、さまざまな出来事を発信しています！ぜひいいね！やフォローをお願いします！



follow me!!



フォトフェスタ



写真甲子園